

しなバス試行運行の実施状況について

しなバス試行運行の実施状況について、下記のとおり「第4回品川区地域公共交通会議」を開催した。

1. 日 時

令和4年8月9日（火） 10:00～12:00

2. 場 所

品川区役所 第二庁舎4階 災害対策本部室

3. 委員構成（別紙1）

4. 内 容

- ・しなバスの利用状況について（別紙2）
- ・しなバスのダイヤ改正（案）について（別紙3）

品川区地域公共交通会議委員名簿
(任期：令和2年9月1日～令和4年8月31日)

令和4年8月9日時点

選出区分	種別	所 属 ・ 役 職	氏名
学識経験者	会長	東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学部門教授	寺 田 一 薫
	副会長	国士館大学理工学部教授	寺 内 義 典
一般乗合旅客自動車運送事業者	委員	東京都交通局自動車部計画課長	若 田 瑞 穂
	委員	東急バス株式会社運輸事業部計画部地域交通グループ課長	原 山 大 輔
	委員	京浜急行バス株式会社事業統括部業務統括課長	長 塚 隆 介
一般乗合旅客自動車運送事業者が組織する団体	委員	一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	米 澤 暁 裕
一般乗用旅客自動車運送事業者が組織する団体	委員	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会専務理事	門 井 正 則
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	委員	東京都交通運輸産業労働組合協議会幹事	佐 藤 尚 宣
住民または利用者の代表	委員	品川第一地区町会・自治会連合会会長	金 子 正 秀
	委員	大崎第二地区町会・自治会連合会会長	石 本 明
	委員	大井第三地区町会連合会会長	棚 橋 靖 紀
	委員	荏原第二地区町会連合会会長	関 召 一
	委員	八潮自治会連合会副会長	望 月 孝 博
	委員	品川区商店街連合会会長	島 敏 生
	委員	一般社団法人しながわ観光協会会長	松 本 亨
	委員	品川区高齢者クラブ連合会副会長	加 藤 昌 彦
	委員	品川区障害者七団体協議会会長	庄 田 洋
国土交通省関東運輸局 東京運輸支局長が指名する者	委員	国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官(輸送)	清 家 裕 之
交通管理者	委員	警視庁交通部交通規制課課長代理	藤 平 忠 晴
	委員	警視庁品川警察署交通課長	山 岸 秀 実
	委員	警視庁大崎警察署交通課長	池 福 竜 之 信
	委員	警視庁大井警察署交通課長	飯 島 茂 雄
	委員	警視庁荏原警察署交通課長	時 任 一 郎
	委員	警視庁東京湾岸警察署交通課長	鳴 海 俊 太郎
道路管理者	委員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所交通対策課長	大 野 貴 史
	委員	東京都建設局第二建設事務所管理課長	鈴木 義 治
	委員	品川区防災まちづくり部土木管理課長	溝 口 雅 之
品川区長が指名する者	委員	品川区企画部長	久 保 田 篤 行
	委員	品川区地域振興部長	伊 崎 み ゆ き
	委員	品川区文化スポーツ振興部長	山 崎 修 二
	委員	品川区福祉部長	今 井 裕 美
	委員	品川区都市環境部長	中 村 敏 明
	委員	品川区防災まちづくり部長	稲 田 貴 稔

◆事務局

所 属 ・ 役 職	氏 名
品川区都市環境部都市計画課長	鈴木 和 彦
品川区都市環境部都市計画課計画調整担当主査	大 橋 幸 一
品川区都市環境部都市計画課計画調整担当	佐 々 木 健 人
品川区都市環境部都市計画課計画調整担当	竹 本 真 也
品川区都市環境部都市計画課計画調整担当	落 合 幸 一

しなバスの利用状況について

第4回品川区地域公共交通会議資料 (令和4年8月9日)

(目次)

1. 現行の運行内容について
 - (1) 運行ルート・バス停留所
 - (2) 運行計画
 - (3) 運行開始日
2. しなバスの利用状況について
 - (1) 利用者数
 - (2) 区に寄せられたご意見

1. 現行の運行内容について

(1) 運行ルート・バス停留所

- ①起 点： 西大井駅
- ②終 点： 大森駅北口
- ③主経由地： 大井警察署、品川歴史館、さくら会
- ④営業キロ： 往復6.4km（往路3.2km、復路3.2km）

——：コミュニティバス路線
● ●：バス停（黄：しなバス専用、赤：東急バス併用）
--- ● ●：既存バス路線・バス停



(2) 運行計画

- ①運行時間： 西大井駅発
始発 午前7:00 終発 午後8:30
大森駅北口発
始発 午前7:30 終発 午後9:00
- ②所要時間： 往路20分 復路20分
- ③運行間隔： 30分間隔
- ④運行回数： 往路28回 復路28回
※平・土・休日共通
※地域の催事の際は、適宜運休する予定

(3) 運行開始日

令和4(2022)年3月28日(月)

2. しなバスの利用状況について

(1) 利用者数

■期 間：令和4年3月28日～6月30日

	3月	4月	5月	6月	合計
利用者数	1,568人	15,010人	14,002人	14,432人	45,012人
便数	214便	1,680便	1,736便	1,680便	5,310便
1日あたり利用者数	392人	500人	452人	481人	474人
1便あたり利用者数	7.33人	8.93人	8.07人	8.59人	8.48人

(2) 区に寄せられたご意見

① お問い合わせ件数 (令和4年3月28日～6月30日)

3月	4月	5月	6月	合計
4件	21件	8件	10件	43件

② 主なお問い合わせ内容

(運賃について)

- ・運賃はいくらか
- ・シルバーパスは使えるのか
- ・定期券はあるか
- ・普通運賃220円は高いので、安くしてほしい

(バス停について)

- ・しなバスのバス停はどこにあるのか
- ・バス停はいくつあるのか
- ・さくら会前から大森駅北口間のバス停を増やしてほしい
- ・大森駅北口のバス停が分かりにくい
- ・大森駅までの行き方が分からない

(広告について)

- ・バス停広告や車内広告の概要について教えてほしい

(運行計画・運行事業者について)

- ・使用車両は何か
- ・1時間あたり何便か
- ・時刻表やリーフレットがほしい
- ・時間帯によってはかなり混雑していることがあり、運行間隔を短くしてほしい
- ・停車しているバスと歩道の間隙があり、ベビーカーの乗降がしにくかった

(その他)

- ・採算性を考えなければいけないのはわかっているが、大井ルートおよび今後のルートに期待している
- ・大崎ルートや荏原ルートはいつ頃開始されるのか
- ・今回、大井ルートが始まったとのことだが、ほかにもルートがあるのか

しなバスのダイヤ改正(案)について

第4回品川区地域公共交通会議資料 (令和4年8月9日)

(目次)

1. しなバスのダイヤ改正(案)について
 - (1) 改正内容
 - (2) 新旧比較
2. 今後のスケジュール(案)について
3. 事業を進めるにあたって(参考)

1. しなバスのダイヤ改正(案)について

(1) 改正内容

当初計画では、車両を4台（予備車両1台含む）、運行間隔を20分で、試行運行を開始する予定であったが、関係機関等との協議に時間を要し、車両発注が間に合わず、運行事業者（東急バス株式会社）から車両3台を借用し、30分間隔で試行運行を開始した。今般、4台発注している車両の納車が近日中に行われることから、当初計画のとおり、運行間隔を20分とするため、次のとおりダイヤ改正を行うこととする。

- **3台運行（予備車両1台含む）から4台運行（同1台含む）へと変更。**
- **10月1日（土）より、しなバスの運行間隔を現行の30分間隔から20分間隔に変更。**
- 1日あたり**56便（往路28便、復路28便）から84便（往路42便、復路42便）**に増便。
- 運行日は変更なし。（平日・土曜・休日併用ダイヤ）



(2) 新旧比較

現行ダイヤ 30分間隔

西大井駅発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	00 30	2
8	00 30	2
9	00 30	2
10	00 30	2
11	00 30	2
12	00 30	2
13	00 30	2
14	00 30	2
15	00 30	2
16	00 30	2
17	00 30	2
18	00 30	2
19	00 30	2
20	00 30	2
21		
合計		28

大森駅北口発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	30	1
8	00 30	2
9	00 30	2
10	00 30	2
11	00 30	2
12	00 30	2
13	00 30	2
14	00 30	2
15	00 30	2
16	00 30	2
17	00 30	2
18	00 30	2
19	00 30	2
20	00 30	2
21	00	1
合計		28

新ダイヤ 20分間隔

西大井駅発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	00 20 40	3
8	00 20 40	3
9	00 20 40	3
10	00 20 40	3
11	00 20 40	3
12	00 20 40	3
13	00 20 40	3
14	00 20 40	3
15	00 20 40	3
16	00 20 40	3
17	00 20 40	3
18	00 20 40	3
19	00 20 40	3
20	00 20 40	3
21		
合計		42

大森駅北口発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	30 50	3
8	10 30 50	3
9	10 30 50	3
10	10 30 50	3
11	10 30 50	3
12	10 30 50	3
13	10 30 50	3
14	10 30 50	3
15	10 30 50	3
16	10 30 50	3
17	10 30 50	3
18	10 30 50	3
19	10 30 50	3
20	10 30 50	3
21	10	
合計		42



2. 今後のスケジュール(案)について

8月下旬	新車両（4台）納車
8月末	運行計画変更の届出
9月中旬	バス停への掲出、車両ラッピング、ホームページへの掲載、広報紙掲載
<u>10月1日（土）</u>	<u>新ダイヤでの運行開始</u>
12月	アンケート調査の実施
令和5年3月	（仮称）利用者連絡会の設置

※資料ではダイヤ改正日を10月1日としていますが、8月2日公表された日野自動車株式会社の不正問題による出荷停止を受け、車両調達時期の目処が立たなくなったため、新ダイヤでの運行開始日については、変更となる場合があります。
（8月9日追記）

3. 事業を進めるにあたって(参考)

- 令和4年10月から令和5年3月の運行経費（見込み）は、約38,880千円
- 本格導入に必要な乗客数の目安は、1日あたり535人（片道1便あたり6.37人）

※乗客全員が運賃220円を支払った場合の試算

① 運行経費の試算

■ 運行経費：	約38,880千円	（運行事業者による試算）
	（内訳）	
	人件費	約32,006千円
	燃料費	約1,870千円
	車両維持・修繕費	約1,200千円
	諸経費	約3,803千円

② 本格導入に必要な乗客数の目安

■ 収支率50%以上となるために必要な収入：

運行経費約38,880千円 × 50% = 19,440千円

■ 本格導入に必要な乗客数の目安：

運賃220円を支払って乗車する人が 1日あたり535人（片道1便あたり6.37人）

※535人 × 200円(税抜) × 182日 = 19,474千円

※535人 ÷ (往路42便+復路42便) = 6.37人

③ 利用促進に向けて

- PR活動の実施（車内広告、沿線地域等へのチラシ配布）
- アンケート調査によるニーズの把握（令和4年度内に実施予定）
- 沿線住民や利用者等からなる「(仮称)利用者連絡会」を設置
- 運行計画の検証・改善（令和4年度内に検証予定）

■ 試行運行期間と本格導入の判断基準

- 試行運行期間：4年間（令和4年度～令和7年度）
※3年目の運行実績に基づき、本格導入
or見直し(廃止含む)を判断
- 判断基準：収支率50%以上